

ブラジル・ウィークリー

2018年2月13日発行号
作成：日興アセットマネジメント



先週の ブラジル株式市場 の動き (2月5日～2月9日)

ブラジル株式市場は、ボブスパ指数で前週末比▲3.7%となり、週間ベースで2週連続の下落となりました。5日(月)は、米国での長期金利上昇に端を発する世界的株安の流れに加え、商品価格の下落が嫌気され、ボブスパ指数は前週末比▲2.6%と週の中で最も大きく下落しました。6日(火)は、米国株式市場が前日までの大幅な下落から買い戻されたことや、ブラジル企業の堅調な企業業績などが買い材料となり、大きく反発しました。7日(水)は、金融セクターを中心に利食い売りの動きが見られたことや、原油価格の下落が嫌気され、エネルギーセクターが売られたことなどから、反落しました。なお、引け後にブラジル中央銀行は市場予想通り政策金利の引き下げ(7.00%⇒6.75%)を決定しました。8日(木)は、1月のブラジルの拡大消費者物価指数が中銀の目標レンジを下回ったことから、利下げサイクル継続の観測を背景とした買いが先行したものの、米国株式市場が急落する展開となり、続落しました。9日(金)は、欧州株式市場の軟調な推移や、原油価格の下落が嫌気され、下落しました。

ボブスパ指数の推移

(2017年2月9日～2018年2月9日)



レアル(対円)の推移

(円) (2017年2月9日～2018年2月9日)



2月9日時点(過去1週間=2月2日、過去1ヵ月=1月9日、過去3ヵ月=17年11月9日との比較)、なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

■当資料は、日興アセットマネジメントがブラジル株式市場などについてお伝えすることを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。